

## 第1回 運営協議会議事録

### [委員の意見・提言等]

1. 新型コロナウイルス感染拡大に対する生徒、教職員の健康・安全確保については国や府のガイドラインに従い、適切に対応がなされているものと評価する。
  2. 2か月半に及ぶ休校、分散登校の期間中の教育の機会の確保と教育の質保証(学力の育成と保障)については、課題の郵送やメールによる課題提出システムの構築等、利用可能なICT環境の範囲内で精力的に取り組まれたものと判断する。
  3. 2学期の開始を迎え、学校内での感染予防の徹底と、保護者・生徒に対する感染症予防・対応に対する教育・情報提供の強化が望まれる。※校内で感染者や濃厚接触者が出た場合の対応策については、保護者・生徒に対する情報提供のみならず、校内組織による緊急体制のためのシミュレーションを行うことが必要である。
  4. 登校に不安を抱えている生徒に対するケアを、スクールカウンセラーを始め組織的に行うことが望まれる。
- 5-1 今後の教育展開において、特に重要となるのが「学修(学習)規律の遵守」であると考える。授業外学習と授業とを有機的にリンクさせるための具体的な働きかけやダイナミックな授業運営が求められる。そのため校内研修(FD)やICTをはじめとする教育環境の整備が望まれる。
- 5-2 「主体的・対話的・で深い学び」(アクティブラーニング:以下AL)について  
最近話題になっているALですが、文部科学省の狙いは、不確実な将来において自ら進んで課題を発見し課題を解決する能力を身につけることがこれからの社会において必要であると捉えられます。こうした観点からすれば、その授業内での学びにALを取り入れるだけではなく、ある授業の学びが別の授業の学びとどうつなげることができるのか、ある科目での学びは別の科目での学びにつなげることができるのか、また、自宅学習とどうつなげることができるのか、豊かな人間性の涵養のために、教科での学びはどう課外活動や地域奉仕活動につなげることができるのか等が課題になるかと思います。それは逆に、課外活動や地域奉仕活動の学び、自宅学習の学び、別の科目での学び、別の授業の学びがどう現在の授業の学びとつながっているのか生徒自身が考える、提示することができることにあるのではないのでしょうか。以前、遅刻者に対する指導としてこうした学習の機会を持ったことが運営協議会内でありましたが、様々な指導の関連性を指導する教員の側も持つておくことが何より必要なのではないかと思います。おそらく先生の意識も変わる必要があるのではないかと思います。
6. ウイズコロナの下で、生徒の家庭でのICT利用環境等についてリサーチし、オンライン授業(ライブ型、オンデマンド型)や対面授業、また、両者を融合したハイブリッド型授業等を柔軟に実施することができるリソースを強化することが望まれる。
  7. 「令和2年度学校経営計画及び学校評価」について  
「1. 学力向上と進路実現の(2) 自学自習する力の育成」を教職員・保護者が一体となり具体的な施策として取り組まれることが強く望まれる。
  8. 刷新された学校紹介パンフレットの完成を楽しみにしている。

9. ホームページについて

校長先生自らがブログ等で発信されていること、非常に素晴らしいと思います。こうした校長先生からの発信を今後増やしていけたらいいのではないかと思います。余談ですが、東京都立高校の地域連携科目による学びの研究を10年ほど行っておりますが、教育熱心な校長先生ほど、ブログの発信を毎週1回と熱心されています。継続することは大変かと思いますが、よろしくをお願いします。

10. 「臯らしさ」について

前回の協議会での もっと「臯らしさ」を前面に押し出し広報された方がいいのではという意見についての返答として、今回の回答がなされているのではないかと推測します。ただ、その場での意見は、高校間の競争が激しさを増す中で中学生と保護者に選んでもらうためには何が必要とされるのかということであったと記憶しています。入学生アンケートからは「普通の普通科」であったとしても、「普通の普通科」ではたして選んでもらえるのかどうかについて、再度検討されてもいいのではないのでしょうか。そのためには、競合校はどこなのか、競合校と異なったディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを掲げることが必要なのではないのでしょうか。都立高校の調査でも、熱心に教育をされる学校ほど危機感を持ち、例えば学校運営協議会を拡大する形で戦略会議等も実施されています。

11. 部活動の活性化について

部活動の加入率をあげることが学校経営計画に書かれています。ただ部活動をやりたくない生徒にとって満足度を低下させる懸念があると思います。以前⑤の学校教育自己診断で分析におけるクロス集計を送っていただいた時に返答すればよかったのですが、確か「生徒の部活動加入」と「学校満足度」には相関がなかったことについて、同封された資料によれば「部活動を行っていた人で部活動に熱心取り組んだ」と「学校満足度」には正の相関があるため、部活動を推進した方がのぞましいという結論であったと記憶しています。ただ「生徒の部活動加入」と「学校満足度」には相関がなかったことの別の側面として「部活動に参加していなくても学校満足度が高い生徒がいる」ことがあげられます。そうした生徒の部活動加入を進めるのは、学校満足度を下げってしまう危険性があると思われまます。むしろ、「部活動に参加していない生徒の学校満足度は何が原因で高いのか」について要因を考察し、コンセプトにある「個性の尊重」を推し進めた方が、部活動加入如何に関わらず学校満足度を上げることができるのではないのでしょうか。

12. 学校運営協議会制度（コミュニティスクール）の研究も数年来行っておっており、若干提案したいことがございます。コミュニティスクールは地域の様々な方々に学校経営に参画することをめざしている制度ですが、実施に当たって必要なのはまずは校長先生のリーダーシップ、そして参画する地域の様々な方による「学校を中心とした地域づくり」の意識にあると言えます。少なくない数の学校では「熟議」という地域の方々による学校経営に参画するミーティングが開催されていますが、この「熟議」を臯が丘高校においても行うことは難しいでしょうか。せっかく学校運営協議会制度を持ち、教職員と地域の方々が一体となった学校経営の可能性があるのですから校長先生にリーダーシップを発揮していただいて「熟議」を一度行ってみるといいのではないかと思います。校長先生のブログ発信も校長先生のリーダーシップによりなされていることとかと思います。より良い学校経営のために校長先生のリーダーシップを期待しています。

13. コロナウィルス感染症が拡大する中、感染予防対策を講じた上で、学校行事・部活動・地域貢献をどのように実現するのかが、本年度の課題。今、地域活動はすべて休止しています。限られた時間の中で例年通りの活動は無理かと思いますが、工夫してできることを実現して下さい。

学校一丸となって、このコロナ禍を無事に乗り切られる事を願っています。

14. 新型コロナウイルス感染防止に関する対応を行いながら学校運営にご苦労されておられることと思います。その中でも校内の ICT 環境整備などに取り組み、今後、再度の学校休業などが起きた場合にも対応できる準備を進めておられること、素晴らしいと感じます。

また、学校紹介パンフレットの刷新や動画などでの学校紹介も活用しながら情報の提示をされていることを知り、学校説明会や見学会の実施の難しさに適切に対応され、生徒確保に積極的に取り組んでおられることが伺えます。

紙のパンフレットはもちろんですが、この様な状況の中、ホームページなどの WEB を活用して情報収集している中学生や保護者も多いことが考えられ、一層の充実を図られることを期待しています。

本校の前を毎朝自転車でさわやかに通っていく阜の生徒さんたちはとても礼儀正しく、十中生が(御校の生徒の通学する)自転車が通り過ぎるのを待っていると軽く会釈をして通っていきます。また、こんなに暑い中でも多くの生徒さんはマスクを着用しています。一人で自転車であればなくてもよいのにも思いますが、感染防止の意識をしっかりと持っているのだらうと感心しています。パンフレットに本校の卒業生も紹介していただいております、進路選択の際にはより身近な学校と感ずることでしょう。

今後も様々な面でお世話になると思いますが、よい連携が続きますようにどうぞよろしく願いいたします。

### [事務局からの説明および回答]

各委員からご指摘いただいた意見・観点を踏まえ、2 学期以降の教育活動を続けてまいります。

とりわけ、学習環境の整備、教育実践に関しては、計画中・予算確保できたもの等、進捗状況を以下の通り回答します。

#### ○ オンライン授業や対面授業、また、両者を融合したハイブリッド型授業等を柔軟に実施することができるリソースの強化について

- ⇒ ・(国の)ギガスクール整備事業により、校内ネットワーク基盤の増強(LAN 6A ケーブル敷設)・普通教室に無線アクセスポイントを設置
- ・大阪府教育庁が Google 社と包括協定締結(G-Suite Education によりメール、クラウドストレージファイル共有コンテンツ(ClassRoom)が、利用可能)
- 教員向け指導者研修(8 月のべ 4 回実施)・校内運用ルールの策定・利用アカウントの発行等、校内組織 オンライン PT による運用
- 自宅・学校・図書館等のインターネット環境がある場所にて利用が可能。  
情報収集だけでなく、課題提出やコメントの入力・共有ストレージへの書き込み等、情報発信・共有することが可能になる。については、情報モラルを含めた情報リテラシーを身につけることが必須であり、校内組織を構成し、組織的な運用体制の構築が必須。
- あわせて、反転授業も含めた、利用方法についての研究を進め、より効果的な授業実践を探る。

#### ○ 「部活動に参加していない生徒の学校満足度は何が原因で高いのか」について要因を考察し、コンセプトにある「個性の尊重」を推し進めた方が、部活動加入如何に関わらず学校満足度を上げることができるのではないのでしょうか。

- ⇒ ・昨年度の学校教育自己診断等アンケートを再度分析し、要因の考察から進めます。

学校行事・部活動・地域貢献をどのように実現するのかは、本年度の課題である。

⇒ 部活動等の課外活動については、府教育庁から示されているガイドラインに則り、コロナウィルス感染防止のための対策を講じた上、取り組んでおります。

また、体育祭については、3密にならないよう競技種目を見直し、文化祭については、文化部の発表、各クラスが制作した展示や動画等を学年ごとに時間帯を分けて閲覧する等、新たな生活様式の中での行事を通じて、生徒たちの自主性・協調性・主体性を培えるよう指導してまいります。

その他、校内での協議や地域との調整等が必要なものについては、引き続き進め、その進捗については、第2回の学校運営協議会にて説明させていただきます。